

妊娠女性の葉酸サプリメント摂取と 3歳児の自閉症スペクトラム症は関連するか

Nishigori *et al.* Prenatal folic acid supplementation and autism spectrum disorder in 3-year-old offspring: the Japan environment and children's study. *J Matern Fetal Neonatal Med.* 2022. doi:[10.1080/14767058.2021.2007238](https://doi.org/10.1080/14767058.2021.2007238)



【はじめに】

葉酸は胎児の神経発達に重要な栄養素です。海外の研究では、妊娠期の葉酸サプリメントの摂取は生まれた子どもの自閉スペクトラム症（ASD:Autism Spectrum Disorder）の発症リスクを下げるという報告がありますが、関連はないという報告もあります。そこで、日本ではまだ調査されていなかった妊娠期の葉酸サプリメント摂取と子どものASDとの関連を調べました。

【調査方法】

妊婦さんへのインタビュー調査の回答から、妊娠期の葉酸サプリメント摂取状況を以下の3つに分けました。

- ① 妊娠判明前から摂取
- ② 妊娠判明後から摂取
- ③ 摂取なし



次に、生まれた子どもの3歳時点において、質問票の調査でASDの診断を行い、これらのデータを統計解析しました。

【結果】

葉酸サプリメント 摂取	母親 96,931人	ASDの子 361人	関連の高さ※1	p ※2
なし	59,901人 (61.8%)	193人 (0.32%)	1	—
妊娠判明前 から	7,046人 (7.3%)	39人 (0.55%)	1.189	0.36
妊娠判明後 から	29,984人 (30.9%)	129人 (0.43%)	1.072	0.58

※1 葉酸摂取と子どものASDの関連が高いほど、1よりも大きい数字になります。

※2 「P」は確率を表すProbabilityのPです。この数字が0.05よりも小さいと、葉酸摂取なしに比べて信頼できる差があることを示します。

対象となった96,931組の親子のうち、361人の子どもが3歳の時点でASDの診断されました。また、母親の葉酸サプリメントの摂取と子どものASDとの関連について、統計学的な差はありませんでした。

【この調査でわかったこと】

今回の調査では、母親の妊娠前・妊娠中の葉酸サプリメント摂取は、3歳児のASDと関連しないことが分かりました。今回調べていなかった葉酸サプリメントの摂取量や摂取頻度との関連はあるのか、新たな課題が分かってきました。